

経営計画「2020」

公益財団法人宮城県学校給食会

私たち公益財団法人宮城県学校給食会は、全ての行動を経営理念に基づくものとし、経営理念の具現化に向け一丸となり邁進してまいります。

また、経営理念を実現するために、目指すべき姿をビジョンとして、職員がとるべき行動を行動指針として定めます。

1. 期間

令和2年4月1日～令和7年3月31日まで（5年間）

2. スローガン

子どもたちの「未来！」のために

3. 経営(基本)理念

私たちは、学校給食を支援する県唯一の公益法人として、食材王国みやぎの豊かな食材を活用した給食・食育への支援を通じ、子どもたちの健やかな成長に寄与します。

4. 経営ビジョン

私たちは、将来にわたり安全・安心な学校給食用物資の安定供給に努め、給食への想いが世代を超え、語り継がれるよう誰からも愛され、信頼される学校給食会を目指します。

5. 行動指針

私たちは、

- ・子どもたち「ファースト」で行動します。
- ・安全、安心を最優先に考えて行動します。
- ・チャレンジ精神とスピード感をもって行動します。
- ・社会的良識に従い、誠実に、感謝の気持ちを忘れず行動します。

○経営計画策定

1. 経営計画策定の意義

当会の伝統的、保守的な風土、伝統に基づいた固定観念からの脱却を図り、今後予想される様々な不安定要因によるマーケットの変化に対応すべく、職員全員が問題意識を共有し、問題解決のために素早い行動（アクション）を起こすべく「経営計画」を策定し、県内唯一の公益法人として、県内小中学校等の学校給食支援組織としての機能充実を目指す。

2. 経営目標策定の背景（現状の課題）

- ・少子高齢化による児童生徒数の減少傾向への対応
- ・学校給食用食材に関する企業間価格競争の激化
- ・現有施設（事務所、常温・冷凍倉庫）老朽化への対応
- ・公益財団法人としての役割の再認識

3. 10年後に向けたミッション

（1）10年後に想定される学校給食の課題

- ①人口減少と少子高齢化による遊休給食設備の増加
- ②学校給食センターの老朽化と学校統廃合によるセンター規模の拡大
- ③A I ・ I T活用による合理化で民間委託の加速化
- ④給食費の値上げと食材の質（素材）の問題および調理員数の減少
- ⑤衛生管理の実施基準見直しと現行設備改修の資金手当

（2）当会のあり方、あるべき姿

- ①公益法人としての役割堅持
 - ・厳選した良質な食材の安定的な提供
 - ・食育活動の推進および支援による貢献
- ②当会実施事業の充実
 - ・社会環境に応じた、研修会、助成等特色のある事業の展開

（3）当会に求められる対応

- ・学校給食および学校給食会を取り巻く環境変化への柔軟な対応
- ・経営目標の確実な遂行による長期安定経営の基礎固め
- ・他県給食会との連携による物資供給の協力体制の構築

4. 当会に期待される役割

- （1）安全・安心で良質な食材の継続的・安定的な提供
- （2）地産地消、アレルギー対応食品等の付加価値物資の提供
- （3）子供たちが正しい食習慣を身に着けるため等の食育活動支援
- （4）各種衛生検査や品質管理の徹底

5. 経営方針の5つの基本

- （1）安全・安心で良質な食材を適正な価格で安定して提供する
- （2）地産地消を推進し、地域の製造・加工事業者と協力した顔の見える安心な学校給食を提供する
- （3）多様化する学校給食に応じた良質な食材を提供する
- （4）栄養教諭等への学校給食（食育支援を含む）に関する研修会等の各種公益事業の計画的推進を目指す
- （5）学校給食の情報発信、他県給食会および国・県・市町村等の事業と連携した学校給食の充実発展へ寄与する

6. 当面の活動方針

- （1）良質で安全・安心、安定的な食材を提供する
- （2）学校給食（食育支援を含む）を通じ、子どもたちの健やかな成長に寄与する
- （3）関係機関（県市町村等）と連携した学校給食の普及および実践
- （4）仕事の基本および組織の基盤となる「5 S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）」の徹底
- （5）既施設老朽化対応の継続検討